

第3次牧之原市健康増進計画に係る パブリックコメントの結果について

(健康推進部 健康推進課)

1 実施の概要

第3次牧之原市健康増進計画において、市民の皆さんの幅広い参加の機会を確保するため、令和元年12月20日(金)から令和2年1月19日(日)を募集期間としてパブリックコメント(意見募集)を実施しました。

2 結果

実施期間において、5名の方から14件の御意見をいただきました。
御意見の概要と内訳は、下表のとおりです。

| 項目 | 内容 | 件数 |
|---------|--|----|
| 健康管理 | 子どもの頃からの規則正しい生活習慣について 次世代の健康な体づくりについて 生活習慣病の予防と重症化予防について 特定健診、がん検診について など | 6件 |
| 栄養・食生活 | 地域の取組について | 1件 |
| 運動・身体活動 | 子どもの遊び・運動について 運動しやすい環境整備について など | 4件 |
| 休養・こころ | 市民の取組について | 1件 |
| 歯・口腔 | 学童期・思春期の取組について 8020推進員の活動について | 2件 |

3 意見への回答

(1) 回答内容

- ・提出いただいた貴重な御意見への回答については、別記「牧之原市健康増進計画(案)についての御意見御質問への回答」のとおりです。
- ・具体的な事業への御意見やアイデアに係るものは、事業を実施する際に参考とします。

第3次牧之原市健康増進計画（案）についての御意見御質問への回答

| No | 項目 | 御意見・御質問 | 回答（市の考え方） |
|----|------|---|---|
| 1 | 健康管理 | <p>子どもの頃からの規則正しい生活習慣</p> <p>子どもの頃から早寝早起きの習慣・望ましい生活習慣を身につけるためには、親世代の生活習慣（夜型、携帯・ネット等）の見直しも必要であると考える。</p> <p>また、携帯電話やゲーム等で視力低下、依存等の問題がないか心配であり、親子共々教育が必要であると考える。</p> | <p>御意見のとおり、規則正しい生活習慣が身につく子どもを育てるのは家庭の大人であり、その大人も望ましい生活習慣を身につけておく必要があります。行政の取組みに「大人も子どもも“早寝早起き朝ごはん”が実践できるよう推進します」の一文を加え、広報啓発や生活習慣病予防教育の充実に努めていきます。</p> <p>また、長時間に渡るゲーム、SNS等の利用は体や心の問題につながります。行政の取組みに「長時間の、ゲーム等の電子機器使用による健康への影響について広く啓発します」の一文を加え、地域や学校を通じた啓発のみでなく、企業にも協力を得ながら幅広く親世代への啓発を進めていきます。</p> |
| 2 | 健康管理 | <p>次世代の健康な体づくり</p> <p>大人になってからの生活習慣の改善は困難ではあるが、まず大人から改善を試みなければ子どもが生活習慣を改善することはさらに困難。大人が改善に取り組みやすい対策を考えていきたい。</p> <p>栄養バランスのとれた朝食を摂取する割合をさらに上げていくためにも、大人が生活習慣を改善する必要があると思う。家事分業なども必要かもしれない。</p> | <p>前項のとおり、大人も子どもも望ましい生活習慣が身につくよう推進していきます。</p> <p>御意見のとおり、家事分業等の家族ぐるみの協力により、栄養バランスのとれた朝食を摂りやすくなると思われます。具体的な取組は、食育推進計画における食育推進方針の1つである「家族や仲間と楽しく食卓を囲む」のなかに、市民（家庭）に求められる取組として「食事の準備や片付け等、食事作りを家族で行います」が位置づけされています。この取組が市民に浸透していくように、食育推進の中で啓発に努めていきます。</p> |

| No | 項目 | 御意見・御質問 | 回答（市の考え方） |
|----|------|--|--|
| 3 | 健康管理 | <p>生活習慣病の予防と重症化予防について</p> <p>各種健康診査の受診率を上げる対策を継続することも一つ。生活習慣病が重症化した時の自身の生活の変化、家族への影響などまだまだ他人ごとのように考えている方も少なくないと思う。より身近な問題と捉えることができるようにさらに対策を進めたい。</p> | <p>御意見のとおり、生活習慣病が身近な問題と捉えられるよう、行政の取組みの「<u>高血圧、糖尿病等の正しい知識を伝えるため、健康データを活用した健康教育を実施します</u>」を「<u>高血圧、糖尿病等の生活習慣病を自分事として捉えられるように、…</u>」に変更します。自身の健診結果から将来予測が見える媒体を活用し、自分事として現在の生活習慣の見直しにつながるよう進めます。</p> |
| 4 | 健康管理 | <p>がん検診の受けやすい体制整備について</p> <p>受けやすい体制とは、具体的にはどのようなものであるか。</p> | <p>令和元年度から、がん検診と特定健診が同日に実施できる「セット検診」を土曜日に実施し、市民の利便性向上に努めているところです。</p> <p>さらに、今後は女性の総合がん検診の導入や、対象年齢到達者に対する乳がん子宮がん検診の自己負担金無料化を導入いたします。また、健診の待ち時間短縮のために、時間予約制の導入等も検討します。</p> |
| 5 | 健康管理 | <p>特定健診、がん検診の受診率向上について</p> <p>効果的な受診勧奨とは、具体的にどのようなものであるか。</p> | <p>受診率向上対策のまず1つ目として、社会保険から国民健康保険への切り替わりのタイミングで、がん検診の案内、申し込みを受け付ける体制をとります。特定健診については、国民健康保険の被保険者全員に受診券を送付します。</p> <p>2つ目としては、受診勧奨通知による取組です。がん検診については、対象年齢到達者や長期間未受診者には個人通知による受診勧奨をします。特定健診については、未受診への受診勧奨を年間複数回行うことにより、受診率向上につなげていきます。</p> |

| No | 項目 | 御意見・御質問 | 回答（市の考え方） |
|----|---------|--|--|
| 6 | 健康管理 | <p>健康を取り戻したい人たちのためのアプローチ</p> <p>理想的な健康管理をしていますが、病気等により身体的精神的衰えを感じると自ら地域との接点を少なくし、健康管理に対し意欲を失う方も存在すると聞く。どんな状態であっても、生活環境が変わると馴染めなかったり、復帰できなかつたり不安になる。ある程度健康を意識できる人たちの健康づくりだけでなく、健康を取り戻したい人たちのためのアプローチに関しても広報していただきたい。</p> | <p>病気等を患っている人もいない人も、健康づくりの基本や大事なポイントは共通していると考えます。しかし、病気等により、身体が思うように動けない、体力に自信が持てない等、病前とは異なることはあり、困り事は様々であると思います。個々の状況に対応するため、健康相談や家庭訪問によりアドバイスや支援をします。また、健康相談で応じられる例を明記し、健康を取り戻したい人たちにもご利用いただけるよう周知していきます。そして、相談状況に応じ、必要な機関につなぐ等、支援が途切れないよう心がけます。</p> |
| 7 | 栄養・食生活 | <p>栄養・食生活分野の地域の取組について</p> <p>J Aや農家の方に協力してもらい、地元で採れる四季折々の野菜や果物の種・苗つけから収穫と調理まで見学・体験することで、子どもたちが野菜に興味を持ち、地元愛と野菜好きを育てるといった取組を提案する。</p> | <p>市内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校では、J Aハイナンの青年部や婦人部の協力により、農作物の種、苗つけ、収穫体験、調理体験を行っています。また、学校支援員や地元農業者による農業、茶業など幅広い食育体験を実施しています。今後は、子どものみでなく、広く市民が体験活動できるよう支援していきます。また、活動内容を市民に伝えるための広報活動に努めていきます。</p> |
| 8 | 運動・身体活動 | <p>子どもの遊び・運動について</p> <p>体験教室等はすばらしいと思う。ただ、日頃から体を動かすことを目的とした時に、外で遊べる場所がないのではないかと。昔のように山や川・海は子どもだけで遊ぶには危険とされ、学校のグラウンドの開放もない。(親がいなくても遊べる場所がない。) 選択肢がないため、デジタルな遊びになってしまうのではないかと。</p> | <p>御意見のとおり、保護者が安心して子どもを遊ばせることができる場所が少なくなっていることが、デジタルな遊びが増加する要因の1つであると考えられます。しかし、昔のような環境に戻ることも現実難しいものと考えます。</p> <p>親子で楽しく体を動かせる外遊びやお出かけ（外出）の機会は、市や体育協会が主催する運動教室やスポーツ体験だけでなく、民間やボラ</p> |

| No | 項目 | 御意見・御質問 | 回答（市の考え方） |
|----|---------|--|--|
| 8 | 運動・身体活動 | | ンティア等が主催するイベント等もあります。市のホームページの情報提供のみでなく、親子で楽しめる遊びの場が情報提供されている“まきのはら子ども子育てナビ（マキココ）”へも情報掲載を依頼します。行政の取組みには「親子で楽しめる遊びの場の情報提供を進めます」の一文を追加します。 |
| 9 | 運動・身体活動 | <p>次世代の健康な体づくり</p> <p>子どもがゲーム等に依存度が高くなってしまいう背景には、外で遊ぶ危険度も増したことも一因。「遊ぶ」ことを選択肢は大人が思っているよりも少ないと感じる。屋外で自由に遊ぶということに関してはハードルが高いと感じるが、「遊ぶ」「楽しむ」ことについての興味を持ってもらうような取組が必要。</p> | NO. 8と同様です。 |
| 10 | 運動・身体活動 | <p>運動・身体活動の行政取組について</p> <p>ウォーキングコースの検討とあるが、ウォーキングでは遅筋を鍛えることになる。ロコモ対策には速筋の筋肉も必要なため、公園等に自重トレーニング器具(鉄棒等)がある方が望ましい。</p> | <p>御意見のとおり、ロコモ対策には速筋の筋肉も鍛えることが必要です。しかし、自重トレーニング器具を正しく使用するためには個々の指導が必要な場合があります。近年は、トレーニング器具がある施設が公設、民間を含め整備されてきていますので周知していきます。</p> <p>今期の計画では、ウォーキングコースの整備を優先しますが、速筋を鍛えられるようなソフト事業も併せて検討・実施し、ロコモ対策を進めていく予定です。</p> |
| 11 | 運動・ | <p>運動しやすい環境整備</p> <p>牧之原市には海もあれば山もある。豊富な自然環境を活用し運動しやすいまちづくりをさらに進めることはできないか。牧之原市のオフィシャルな SNS だけでなく地域住民が</p> | <p>運動しやすい環境整備としては、市民が歩きやすい公園や歩道を活用したウォーキングコースの整備を検討しているため、その中で自然を感じられるような場所を選定する等、考慮していきます。また、その際に</p> |

| No | 項目 | 御意見・御質問 | 回答（市の考え方） |
|----|--------|--|---|
| 11 | 身体活動 | 発信しやすいような環境整備が進めば自然と足を運ぶことができるきっかけになる。どのような方が牧之原市の良さを伝えてくれているかを知ることができれば、その方の意見も参考になると思います。 | は、地域住民と一緒に検討していくことで、市民の皆さんに利用していただけるものと考えています。 |
| 12 | 休養・こころ | <p>休養・こころ分野の市民取組について</p> <p>趣味や人との交流、ストレス対応等心のケア、家族や仲間とのコミュニケーション等の取組ができない、大切と思わない、必要としない大人がメンタルの不調を訴えている印象があるため無理があると感じる。大人になる前に、家庭・学校・地域の対策が必要であると考え。大人が子どもに愛情を持ち、虐待することなく、自己肯定感を育てる配慮や努力をしないと心身ともに健康でたくましい子どもは育たないと思う。</p> | <p>御意見のとおり、自身の心のケアに目を向けることが難しいこともあると思います。そのため、メンタルの不調が重度化しないように、地道に啓発をしていく必要性を感じています。それと同時に、個々の努力のみでは限界があるため、市では地域や職域と連携を進め、休養・こころのケアについて推進していきます。</p> <p>また、御意見のとおり、大人が子どもに愛情を持って接することで子どもは安心して自己肯定感を育み、成長していきます。子どもの頃から家庭・学校・地域と連携した取り組みが重要です。市としても、現在、家庭や学校と連携した取組として、乳幼児健診や思春期事業等で自己肯定感を育む取組を行っており、今後もこれらを継続していきます。</p> |
| 13 | 歯・口腔 | <p>歯科（学童期・思春期）の取組について</p> <p>しっかりみがけていない児童が多いという課題から、目標が「子ども自身が歯みがき習慣を身につけ…」としていると思うが、取組が「むし歯・歯肉炎の予防のために正しい知識を学ぶ」といった“知識の提供”までとなっている。目標と取組が合致しておらず、“みがき方”にアプローチした取組をするべきであると思う。</p> | 御意見のとおり、むし歯や歯肉炎予防のための知識の定着にとどまることのないよう、市民の取組「むし歯・歯肉炎の予防のために正しい知識を学びます」の一文を「むし歯・歯肉炎の予防のために正しい知識とみがき方を学びます」に変更します。具体的なみがき方として「鏡を見ながら丁寧に歯みがきをします」の一文を追加します。また、みがき方を学べるために、地域の取組「小学生を対象にむし歯・歯周病予防の大切さを伝えます」を「行政と連携し、 |

| No | 項目 | 御意見・御質問 | 回答（市の考え方） |
|----|------------------|--|--|
| 13 | 歯 ・ 口 腔 | | 小学生にむし歯・歯周病予防の大切さとみがき方を伝えます」に変更し、地域、学校、行政の連携を密にし、取り組んでいきます。 |
| 14 | 歯 ・ 口 腔 | <p>8020 推進員（歯みんぐ）の活動について</p> <p>今年度は市主催の口腔機能向上講演会の際、8020 推進員による寸劇を行う。せつかくの機会なので、今年はシニアクラブやサロン等へも出向き活動したい。推進員皆の張り合いになるため、機会をつくっていただきたい。</p> | <p>市民である 8020 推進員の皆様が市民に歯の健康づくりについて啓発していただくことは、歯科保健の意識の底上げになるものと考えております。今後は介護予防の関係課等と連携し、8020 推進員の皆様が活動できる場を情報提供しながら活動を支援していきます。</p> |